

日本 HTLV-1 学会
2019 年度事業報告書
(2019 年 7 月 1 日～2020 年 6 月 30 日)

庶務報告

会 員	一般会員	252 名 (昨年度 238 名)
	学生会員	14 名 (昨年度 22 名)
	賛助会員	9 社 (昨年度 9 社)
	名誉会員	8 名 (昨年度 8 名)
	功労会員	7 名 (昨年度 7 名)
	(2020 年 6 月 30 日現在)	
役 員	理事	20 名
	監事	2 名
評議員		53 名
各種委員会委員	総務委員	8 名
	財務委員	6 名
	診療委員	8 名
	倫理利益相反委員	4 名 (内、外部委員 1 名)
	学術広報委員	9 名
	学会登録医療機関認定委員 13 名 (2019 年 8 月 24 日診療委員会から独立)	

会 議

1. 理事会

第 1 回理事会

日 時 : 2019 年 8 月 23 日 (金) 14 時～14 時 50 分

場 所 : ニューウェルシティ宮崎 (宮崎県宮崎市宮崎駅東 1-2-8)

臨時理事会

日 時 : 2019 年 8 月 24 日 (土) 8 時～8 時 45 分

場 所 : ニューウェルシティ宮崎

議 題 : HTLV-1 感染を感染症法の五類感染症に指定することについて

第 2 回理事会

日 時 : 2019 年 8 月 24 日 (土) 11 時 50 分～12 時

場 所 : ニューウェルシティ宮崎

議 題 : 理事長および副理事長の選任について

臨時理事会 (メール審議)

- ・ 2019 年 7 月 2 日 (火) 2019 年度 YIA・宇都宮賞 受賞候補者について

- ・ 2019年7月30日(火)、8月1日(木)
世界 HTLV デー記念講演会の開催について
- ・ 2019年8月2日(金) 2019年度評議員の改選と新規選任について
- ・ 2019年8月6日(火) HTLV-1感染を感染症法の五類感染症に指定することについて
- ・ 2019年10月1日(火) 厚労省への要望書「HTLV-1感染の感染症法/五類感染症指定」の提出について
- ・ 2020年5月8日(火) 第7回学術集会の開催について(新型コロナウイルス感染状況を鑑みご意見伺い)

2. 定時社員総会

日 時：2019年8月24日(土) 11時10分～11時50分

場 所：ニューウェルシティ宮崎

3. 総務委員会・診療委員会・財務委員会・学術広報委員会・倫理利益相反委員会

日 時：2019年8月23日(金) 13時～14時

場 所：ニューウェルシティ宮崎

事業報告

第6回日本 HTLV-1 学会学術集会

テーマ：新時代のHTLV-1感染症対策・研究・診療

日 時：2019年8月23日(金)～8月25日(日)

場 所：ニューウェルシティ宮崎(宮崎県宮崎市宮崎駅東1-2-8)

会 長：岡山 昭彦(宮崎大学医学部 内科学講座 免疫感染病態学分野 教授)

副会長：森下 和広(宮崎大学医学部 機能制御学講座 腫瘍生化学分野 教授)

参加者数：308名(事前/当日登録者)

口演発表：44件

ポスター発表：55件

特別講演：1件

国際シンポジウム：3件

学術シンポジウム：9件

コーポレートセミナー：4件

特別講演

1) HTLV-1 研究を考える

吉田 光昭(公益財団法人 がん研究会 がん化学療法センター)

宮崎大学 HTLV-1/ATL 総合診療研究ファシリティーとの共同開催

ミニ国際シンポジウム「HTLV-1 感染症：ペルー、オーストラリア、日本」

1) Immunologic hallmarks of Strongyloides stercoralis and HTLV-1 co-infection in ATLL progression

Martin Montes (Assistant Professor, Immunology Laboratory, Instituto de Medicina Tropical 'Alexander von Humboldt', Universidad Peruana Cayetano Heredia, Lima-Peru)

- 2) The Human T cell Leukaemia Virus type 1c: a cause of significant morbidity and mortality in remote Aboriginal communities of central Australia

Lloyd Einsiedel (Executive Director, Baker Central Australia, Alice Springs Hospital, Australia)

- 3) Long-term risk of ATL and HAM/TSP in HTLV-1 carriers: results from JSPFAD

Masako Iwanaga (Professor, Frontier Life Science, Nagasaki University Grad School of Biomedical Sciences)

学術シンポジウム1 「次世代のHTLV-1研究」

- 1) ATLにおけCADM1発現の機能とその臨床的意義
中畑 新吾 (宮崎大学医学部)
- 2) HTLV-1感染病態解明へ向けた感染者血液のシングルセルトランスクリプトーム解析
佐藤 賢文(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)
- 3) HTLV-1感染とリウマチ性疾患
梅北 邦彦 (宮崎大学医学部)
- 4) HAMの病態と治療
佐藤 知雄 (聖マリアンナ医科大学)

学術シンポジウム2 「感染対策の現状」

- 1) HTLV-1母子感染の現状と課題
板橋 家頭夫 (昭和大学病院)
- 2) HTLV-1水平感染の現状と対策
浜口 功 (国立感染症研究所)

学術シンポジウム3 「患者さんとともに進めるHTLV-1医療の均てん化」

(宮崎大学HTLV-1/ATL総合診療研究ファシリテーターとの共同開催市民公開シンポジウム)

- 1) HTLV-1キャリア診療の拠点化構想
内丸 薫 (東京大学大学院)
- 2) 新ガイドラインに基づくHAMの診断・治療と均てん化への試み
山野 嘉久 (聖マリアンナ医科大学)
- 3) 成人T細胞性白血病治療の現状と近未来
下田 和哉 (宮崎大学医学部)

表彰

若手研究者奨励賞 (Young Investigator Award, YIA) 副賞各5万円

手塚 健太 (国立感染症研究所 血液・安全性研究部)

「キャリア妊婦におけるHTLV-1経胎盤感染の実態解明の試み」

田中 梓 (京都大学大学院 医学研究科 創薬医学講座)

「成人T細胞白血病細胞のクロマチン構造解析」

渡邊 達郎（佐賀大学 創薬科学講座）

「病態の進行と相関する DNA メチル化亢進異常の蓄積は成人 T 細胞白血病/リンパ種の治療標的となり得る」

牧山 純也（東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科）

「末梢血 CD4⁺CADM1⁺細胞集団の割合とぶどう膜炎の重症度に関する検討」

宇都宮賞（優れた症例報告に対して） 副賞各 5 万円

岩尾 千紘（宮崎大学医学部附属病院 膠原病感染症内科）

「トシリズマブが有効であった HTLV-1 関連脊髄症を合併した関節リウマチ」

蒲池 和晴（佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科）

「Mogamulizumb 投与後にも T 細胞再構築が得られず EBV 関連中枢神経原発 B 細胞リンパ腫を発症した ATL」

JSPFAD 検体登録貢献者への表彰（500 検体達成毎に表彰） 賞状とトロフィー

2000 検体達成記念表彰 内丸 薫（東京大学大学院 新領域創成科学研究科）

世界 HTLV デー制定記念ロゴマーク・キャッチコピー最優秀賞 副賞各 5 万円

ロゴマーク最優秀賞

磯野 直人（横浜市・グラフィックデザイナー）

キャッチコピー最優秀賞

菅付 加代子（鹿児島市・主婦）

ホームページの維持管理

- ・ 第 7 回学術集会サイト
- ・ 日本 HTLV-1 学会登録医療機関
- ・ 若手研究者奨励賞、宇都宮賞、JSPFAD 表彰、ロゴマーク/キャッチコピー最優秀賞受賞者
- ・ 2019 年世界 HTLV デー記念講演会
- ・ HTLV-1 感染の診断指針第 2 版（ガイドライン）
- ・ 新聞記事掲載 1 件（2020 年 1 月 29 日）